

## 区の花

### ひまわり

誰もが親しみやすく、育てやすい花で、太陽に向かって育つ、元気で明るいイメージが、成長著しい川崎区と重なることから区の花に決められました。

### ビオラ

プランターや鉢等でも育てやすい、冬から春を彩る花で、楽器の「ビオラ」  
とも重なり、「音楽のまちかわさき」のイメージに合うことから区の花に決められました。

## 区の木

### いちよう 銀杏

市役所通りをはじめ、学校や街路等で多く植樹されており、四季折々の様子を楽しむことができます。  
区民に身近な木として親しまれていることから、区の木に決められました。

### ちようじゅうろうなし 長十郎梨

大師河原が発祥の地とされ、大正・昭和の時代は代表的な梨の品種として多くの人々に食され親しまれました。  
地域の歴史と共に語り継がれるよう、区の木に決められました。

区の花、区の木は、第3期川崎区区民会議からの提案を受け、区制40周年を記念して制定しました。

## 目次

### 川崎区のここがすき! \_\_\_\_\_ 6

### 40周年の記念の年に \_\_\_\_\_ 8

### 区制が始まった頃の川崎区 40年前にタイムスリップ! \_\_\_\_\_ 14

### 川崎区の魅力 歴史文化と花のまち \_\_\_\_\_ 20

### 統計からみる川崎区の特徴 \_\_\_\_\_ 28

### ひまわり! ヒマワリ! 向日葵! \_\_\_\_\_ 30 ~区制40周年の夏に区民の皆さんが写したひまわり~

## 川崎区制40周年 記念の年を振り返って ~「歴史文化と花のまち かわさきく」を目指して~

昭和47年、区制が施行された頃の川崎区は、戦後の日本を牽引してきた国内有数の工業都市でした。それから40年の年月が経ちました。この間、公害問題を克服し、現在では高度なものづくり技術や世界的な環境技術等の、これからの成長が期待され国際社会へ貢献することができる産業・研究施設や、川崎駅東口周辺地区のように商業・サービス業等の利便性の高い洗練された都市機能が集積された、地域の中核を担う都市に変貌いたしました。

川崎区が発展を続ける中、暮らしの安全、災害への対応、環境美化、子どもの育成、高齢者福祉等、地域特有の様々な課題もごございます。このような課題に関しては、地域ぐるみの活動により解決が図られているものもごございますが、一人ひとりの価値観やライフスタイルが多様化する中で、住民同士の交流の希薄化等から地域活動を継続することが難しくなっている現状もごございます。

そうした中、今年度、区制40周年の年には、「区の花(ひまわり・ビオラ)、区の木(銀杏・いちよう長十郎梨)」の制定を始めとして、様々な世代の皆様が集い記念の年をお祝いするとともに、区民の皆様一人一人がこれからも川崎区への愛着や希望・期待を持ち続けていけるよう地域を主体とした取組を推進してまいりました。

その1年間の様々な記念事業の様子や歴史・文化といった川崎区が持つ魅力等を多くの区民の皆様を知っていただきたく、この記念誌を作成いたしました。内容は、写真やイラスト等を中心に掲載し、大変読みやすく親しみやすいものとなるようにいたしましたので、是非お手に取っていただきたいと存じます。

これからも川崎区が持つ魅力である「川崎大師」「東海道川崎宿」等の“歴史や旧跡”、「音楽」「映像」等の“文化や芸術”、「区の花・区の木」「多摩川」等の“緑や自然環境”等、これら豊かな地域資源を十分に活用しながら、子どもから高齢者まで様々な世代の交流を通じて、人のつながりを大切にした取組を進めてまいります。引き続き、「歴史文化と花のまち かわさきく」の発展のため一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



川崎区長 豊本欽也